

国立環境研究所福島支部

飯舘村出前講座 2019

～「までい」な暮らしを支える環境のいま～

国立環境研究所は2016年に三春町に福島支部を開設し、東日本大震災による被災地域の復興・再生に向けた研究活動を行っています。その中で、飯舘村においても地域の方々と協力しながら、環境状況の把握や環境回復のための研究に取り組んできました。

このような調査研究の成果を皆様に紹介するために、農業・食品産業技術総合研究機構の皆様と一緒に出前講座を開催いたします。是非ご参加ください。

第1回

10.21 [月]

| 時間 | 15:00～16:05

| 場所 | 飯舘村役場 第一会議室

- ◆ **ご挨拶と研究所紹介** (15:00～15:05)
林 誠二 国立環境研究所福島支部 研究グループ長
- ◆ **川を流れる放射性セシウムの動き～ダムが果たす役割について～**
辻 英樹 国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室 (15:05～15:25)
- ◆ **福島県のイノシシはどこをどう動いているのか?** (15:25～15:45)
玉置 雅紀 国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室
- ◆ **原発事故被災地域に必要な獣害対策** (15:45～16:05)
藤本 竜輔 氏 農業・食品産業技術総合研究機構

第2回

11.20 [水]

| 時間 | 15:00～16:00

農業委員会終了後

| 場所 | 飯舘村役場 第一会議室

- ◆ **大気中の放射性セシウムのモニタリング** (15:00～15:20)
高木 麻衣 国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室
- ◆ **山林における山菜と土壌調査～コシアブラを中心に～**
林 誠二 国立環境研究所福島支部 研究グループ長 (15:20～15:40)
- ◆ **除染後農地に繁茂する多年生雑草とその対策**
浅井 元朗 氏 農業・食品産業技術総合研究機構 (15:40～16:00)

第3回

令和2年 **1.20** [月]

| 時間 | 15:00～16:20

農業委員会終了後

| 場所 | 飯舘村役場 第一会議室

- ◆ **避難指示区域内とその周辺の生き物モニタリング** (15:00～15:20)
吉岡 明良 国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室
- ◆ **淡水魚に取り込まれる放射性セシウムについて** (15:20～15:40)
石井 弓美子 国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室
- ◆ **カバークロップを活用した農地の保全** (15:40～16:00)
好野 奈美子 氏 農業・食品産業技術総合研究機構
- ◆ **「環境再生事業」について** (16:00～16:20)
万福 裕造 氏 農業・食品産業技術総合研究機構

